



### 13 網代蔦蒔絵棚

大垣昌訓 1基 大正3年(1914)  
木製漆塗、蒔絵、七宝 40.3×87.0×78.5

本作は、大正3年の東京大正博覧会に「都の秋蒔絵書棚」の名称で出品された作品で、翌年、大札奉祝の品として、侯爵前田利爲より献上された。大垣昌訓(1865~1937)は金沢の出身、蒔絵を学び、各種の博覧会、展覧会に出品して活躍、宮内省関係の仕事も手掛けていた。

<展示 第1期-13>



全姿

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に<sup>1</sup>出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

祝いわい美のび——大正期皇室御慶事の品々

三の丸尚蔵館第45回展覧会

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 野崎印刷紙業株式会社

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成十九年九月二十九日発行

©2007, The Museum of the Imperial Collections